

第2節 学校教育系施設

※23

小学校

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積	建物性能			施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性校舎	耐震性体育館	合計	児童当たり	児童数	スペース利用率
上野東小学校	上野	平成18年度	3棟	9,205㎡	12.6%	有	有	-12百万円	-21,437円/人	568人	14.2㎡/人
上野西小学校	上野	平成7年度	15棟	7,095㎡	62.1%	有	有	-10百万円	-14,952円/人	671人	8.5㎡/人
久米小学校	上野	平成14年度	5棟	4,531㎡	35.0%	有	有	-5百万円	-29,295円/人	183人	21.8㎡/人
花之木小学校	上野	昭和60年度	2棟	2,310㎡	57.2%	有	有	-3百万円	-41,645円/人	62人	28.2㎡/人
長田小学校	上野	昭和59年度	2棟	2,286㎡	60.8%	有	有	-3百万円	-60,395円/人	43人	40.8㎡/人
新居小学校	上野	昭和42年度	5棟	3,121㎡	80.7%	有	有	-3百万円	-18,368円/人	182人	13.6㎡/人
三田小学校	上野	昭和61年度	2棟	2,454㎡	57.6%	有	有	-3百万円	-27,899円/人	99人	19.4㎡/人
府中小学校	上野	昭和59年度	2棟	2,857㎡	61.0%	有	有	-4百万円	-17,965円/人	200人	11.1㎡/人
中瀬小学校	上野	昭和48年度	5棟	2,719㎡	79.6%	無	有	-3百万円	-22,856円/人	132人	17.0㎡/人
友生小学校	上野	平成17年度	6棟	9,673㎡	12.1%	有	有	-12百万円	-17,825円/人	673人	12.9㎡/人
猪田小学校	上野	昭和50年度	2棟	2,418㎡	76.7%	有	有	-3百万円	-41,573円/人	82人	22.6㎡/人
花垣小学校	上野	昭和53年度	2棟	2,288㎡	68.3%	有	有	-3百万円	-60,167円/人	42人	41.8㎡/人
依那古小学校	上野	昭和53年度	2棟	2,946㎡	70.2%	有	有	-3百万円	-29,126円/人	119人	20.0㎡/人
神戸小学校	上野	昭和55年度	4棟	2,763㎡	95.4%	有	有	-4百万円	-39,760円/人	104人	21.2㎡/人
古山小学校	上野	昭和61年度	3棟	2,261㎡	59.8%	有	有	-3百万円	-89,971円/人	34人	50.9㎡/人
丸柱小学校	上野	昭和49年度	3棟	2,638㎡	81.4%	有	有	-3百万円	-61,519円/人	54人	40.7㎡/人
柘植小学校	伊賀	昭和52年度	6棟	6,142㎡	71.4%	有	有	-8百万円	-52,544円/人	147人	28.8㎡/人
西柘植小学校	伊賀	昭和48年度	3棟	4,034㎡	76.1%	無	有	-4百万円	-40,920円/人	100人	35.9㎡/人
壬生野小学校	伊賀	昭和43年度	6棟	5,575㎡	72.2%	有	有	-5百万円	-25,762円/人	202人	19.0㎡/人
島ヶ原小・中学校	島ヶ原	平成16年度	5棟	7,018㎡	19.1%	有	有	-4百万円	-25,895円/人	162人	30.1㎡/人
河合小学校	阿山	昭和40年度	5棟	5,104㎡	67.7%	無	有	-6百万円	-29,487円/人	189人	17.7㎡/人
玉滝小学校	阿山	昭和60年度	5棟	3,867㎡	54.3%	有	有	-3百万円	-50,557円/人	61人	42.6㎡/人
蕪田小学校	阿山	平成元年度	3棟	4,000㎡	45.5%	有	有	-4百万円	-60,647円/人	68人	40.0㎡/人
大山田小学校	大山田	平成16年度	4棟	6,469㎡	16.4%	有	有	-8百万円	-33,527円/人	243人	21.8㎡/人
青山小学校	青山	平成16年度	2棟	8,696㎡	12.9%	有	有	-11百万円	-22,849円/人	497人	14.8㎡/人
合計			102棟	112,470㎡	-	-	-	-131百万円	-26,617円/人	4,917人	22.9㎡/人

※23 個別の小学校（中学校）の収支については、実績値が判明している人件費、電気料金及び水道料金は実数値を採用しました。その他の燃料費、委託料、修繕費などについては、平成23（2011）年度の歳入歳出決算書の小学校（中学校）費における施設関連費用全体の決算値を面積按分することで求めました。

スペース利用率の計算は、校舎の延床面積÷児童数で算定しているため、体育館や給食棟などの面積は含まれていません。

また、人件費のうち、教員の国県負担分については含めず、嘱託職員及び臨時職員人件費の実績を採用しています。

耐震性については、伊賀市内小中学校の施設の状況（平成25（2013）年4月1日時点）の情報を記載しています。

なお、島ヶ原小・中学校は、同一の建物を一体で利用していることから、施設評価は小・中学校の合算値を掲載しています。

＜施設の収支＞

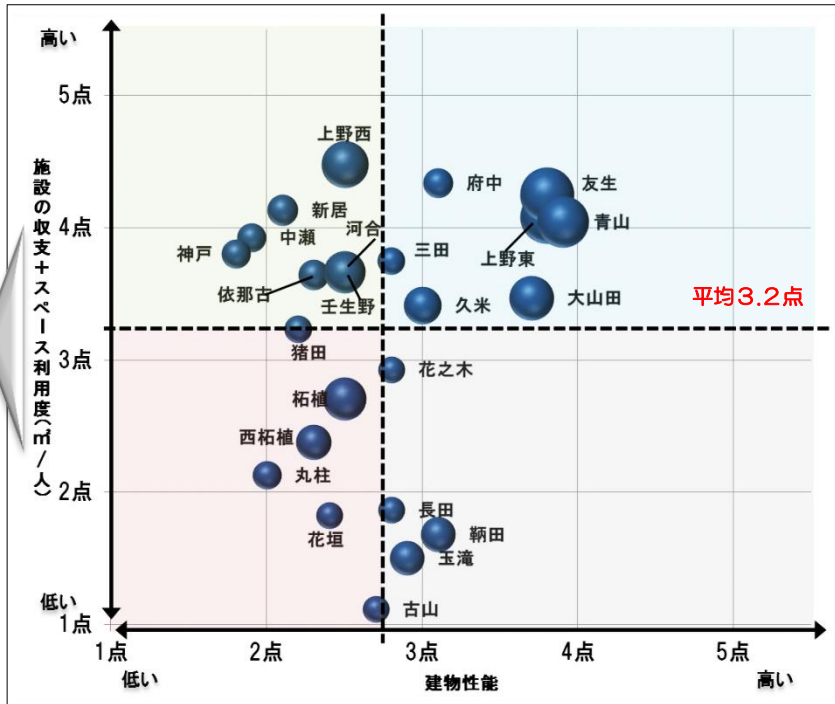
児童一人当たりの維持管理経費が最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分

＜スペース利用度＞

児童一人当たり校舎面積が最も少ない施設を5点、最も多い施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分

＜縦軸の点数＞

(施設の収支の点数×0.3) + (スペース利用度の点数×0.7)



適正配置の方向性

＜協議、検討中の事項＞

- ・ 上野北部地区小学校再編計画、上野西部地区小学校再編計画、阿山地区小学校再編計画に基づき、移転や統合を実施する予定となっています。

＜今後の方向性（案）＞

- ・ 公立学校施設実態調査※24による児童一人当たりの校舎保有面積（全国平均12.68㎡）と比較すると、本市の児童一人当たり延床面積22.9㎡は平均の約1.8倍と多くなっていることから、将来の児童数減少や複式学級の解消を見据えた適正な規模と配置を検討する必要があります。
- ・ 再編後の旧小学校については、整備時の補助金や起債による制約などに留意しつつ、他用途への転用や更地にしての売却などの有効活用を検討していきます。
- ・ 余裕教室や体育館などの有効活用を検討していきます。

※24 「公立学校施設実態調査」（平成24（2012）年度）の「小学校校舎等の1校・1学級・1人当たり保有面積等」より

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001047676&cycode=01>

中学校

※25

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積	建物性能			施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性校舎	耐震性体育館	合計	生徒当たり	生徒数	スペース利用度
崇広中学校	上野	平成11年度	5棟	7,986㎡	42.5%	有	無	-11百万円	-26,766円/人	415人	16.1㎡/人
緑ヶ丘中学校	上野	昭和49年度	6棟	6,560㎡	56.5%	有	有	-8百万円	-14,413円/人	542人	9.2㎡/人
城東中学校	上野	平成20年度	3棟	7,902㎡	4.4%	有	有	-10百万円	-31,119円/人	327人	18.5㎡/人
上野南中学校	上野	平成23年度	3棟	7,129㎡	0.0%	有	有	-	-	242人	22.0㎡/人
柘植中学校	伊賀	昭和57年度	4棟	5,597㎡	63.1%	有	有	-6百万円	-63,888円/人	98人	44.9㎡/人
霊峰中学校	伊賀	昭和52年度	7棟	5,812㎡	64.0%	有	有	-7百万円	-38,005円/人	183人	22.8㎡/人
島ヶ原小・中学校	島ヶ原	平成16年度	5棟	7,018㎡	19.1%	有	有	-4百万円	-25,895円/人	162人	30.1㎡/人
阿山中学校	阿山	昭和48年度	6棟	6,157㎡	77.1%	有	有	-7百万円	-31,213円/人	240人	18.2㎡/人
大山田中学校	大山田	昭和44年度	5棟	5,420㎡	84.0%	有	無	-7百万円	-46,444円/人	142人	31.0㎡/人
青山中学校	青山	昭和58年度	9棟	7,920㎡	60.9%	有	有	-9百万円	-35,838円/人	265人	20.0㎡/人
合計			53棟	67,501㎡	-	-	-	-70百万円	-26,793円/人	2,616人	25.8㎡/人

<施設の収支>

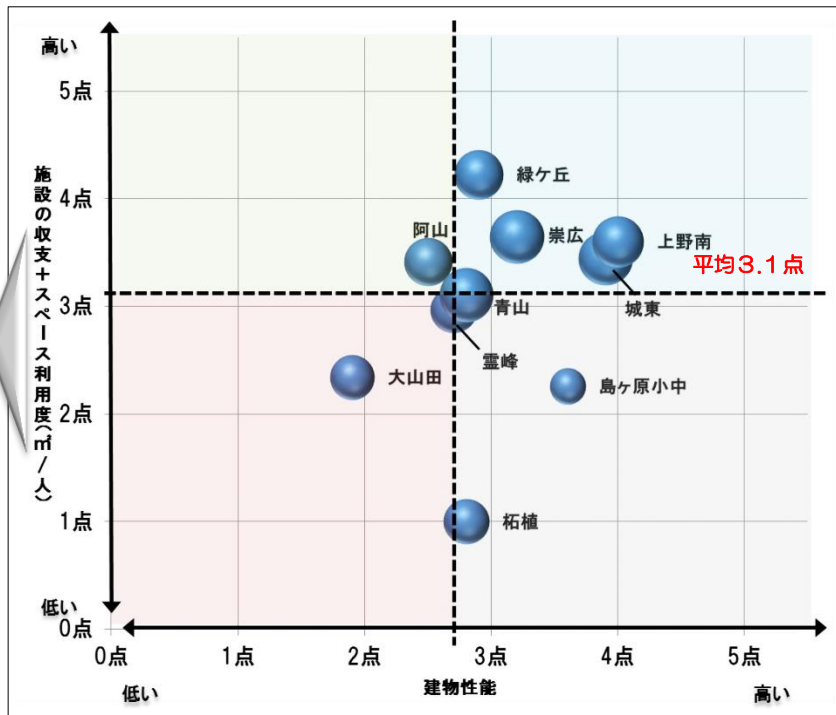
生徒一人当たりの維持管理経費が最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分

<スペース利用度>

生徒一人当たり校舎面積が最も少ない施設を5点、最も多い施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分

<縦軸の点数>

(施設の収支の点数×0.3) + (スペース利用度の点数×0.7)



<適正配置の方向性>

<実施済の事項>

- 平成21(2009)年度に桃青中学校と府中中学校が城東中学校、平成24(2012)

※25 上野南中学校は、平成24(2012)年度に開校した施設であるため、収支の情報を記載していません。

スペース利用度の計算は、校舎の延床面積÷生徒数で算定しているため、体育館や給食棟などの面積は含まれていません。

耐震性については、伊賀市内小中学校の施設の状況(平成25(2013)年4月1日時点)の情報を記載しています。

なお、島ヶ原小・中学校は、同一の建物を一体で利用していることから、施設評価は小・中学校の合算値を掲載しています。

年度に成和中学校と丸山中学校在り上野南中学校として再編を行ってきた経緯があります。
 <今後の方向性（案）>

- 公立学校施設実態調査による生徒一人当たり校舎保有面積（全国平均15.01㎡）と比較すると、本市の生徒一人当たり延床面積25.8㎡は平均の約1.7倍と多くなっていることから、将来の生徒数減少を見据え、本市としての適正な中学校の配置や規模を検討する必要があります。
- 再編後の旧中学校については、整備時の補助金や起債による制約などに留意しつつ、他用途への転用や更地にしての売却などの有効活用を検討していきます。
- 余裕教室や体育館などの有効活用を検討していきます。

給食センター

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性	合計	一食当たり	提供食数	稼働率
いがっこ給食センター夢	上野	平成18年度	1棟	1,870㎡	10.8%	有	-128百万円	-243円/人	527,577食	90.2%
阿山給食センター	阿山	昭和58年度	1棟	592㎡	54.0%	有	-67百万円	-497円/人	135,232食	69.3%
大山田給食センター	大山田	平成3年度	1棟	557㎡	51.3%	有	-52百万円	-395円/人	132,221食	57.5%
合計			3棟	3,018㎡	-	-	-248百万円	-312円/人	795,030食	78.7%

<施設の収支>

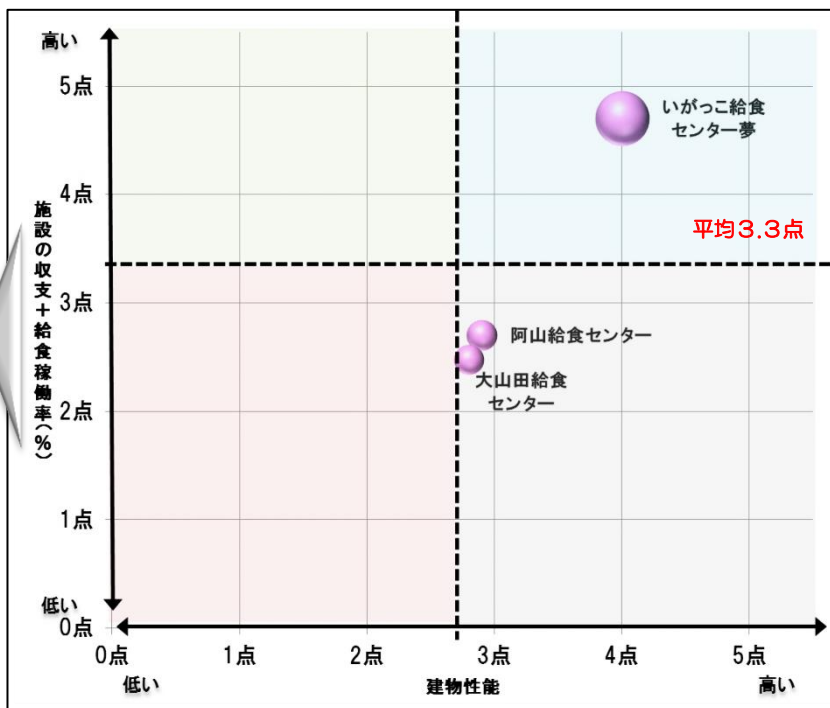
1食当たりの維持管理経費が最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分

<給食稼働率>

提供数÷提供可能数×100%が最も高い施設を5点、最も低い施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分

<縦軸の点数>

(施設の収支の点数×0.3) + (給食稼働率の点数×0.7)



<適正配置の方向性>

<今後の方向性（案）>

- 本市では、自校方式・センター方式の2方式で学校給食を提供していますが、今後は少子化の進行による給食需要の減少や調理員の確保が困難になることを見据え、運営方式などを検討します。
- 施設の更新にあたっては、PFIなど民間資本による整備手法などが考えられます。